



独立行政法人医薬基盤研究所

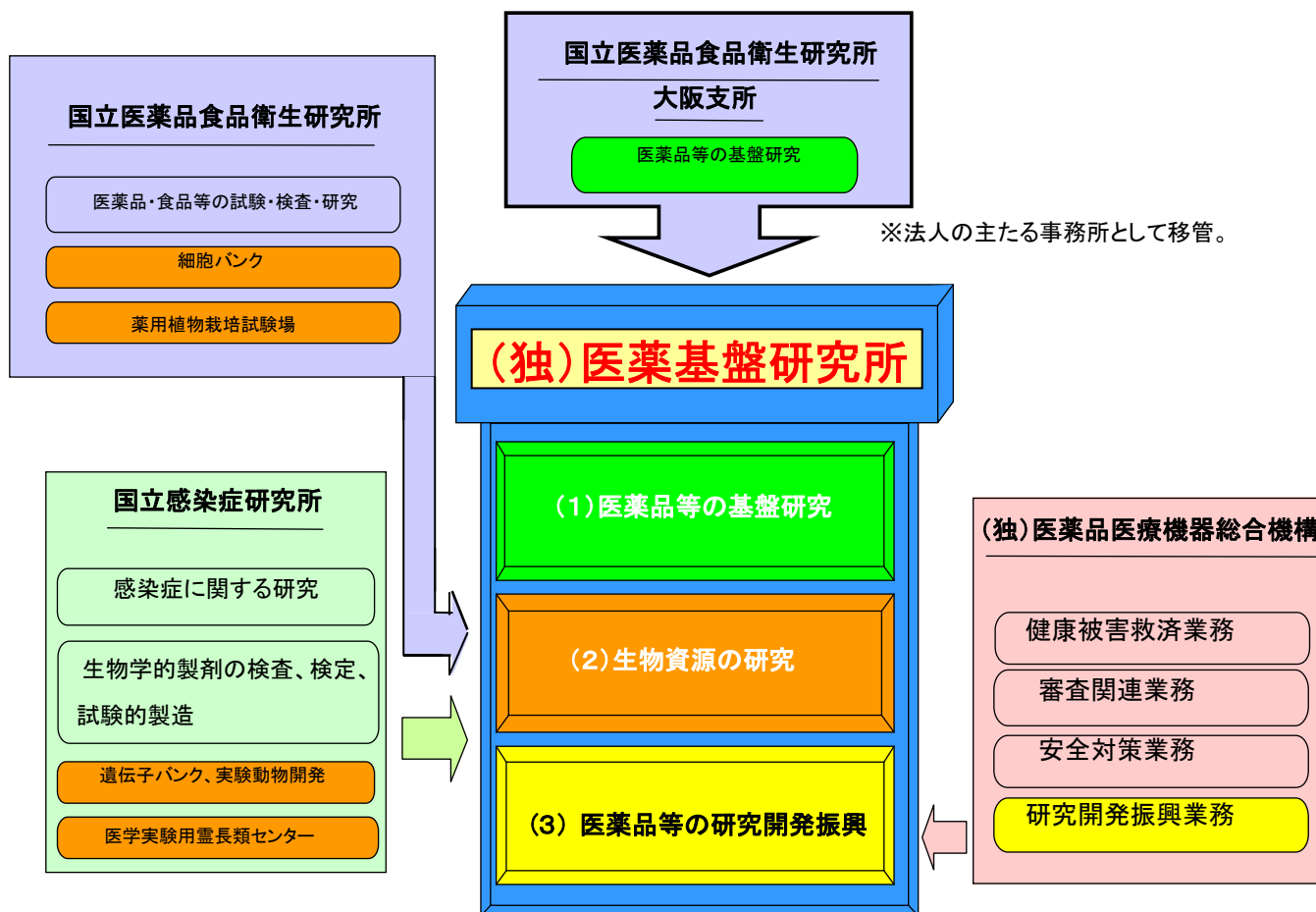
厚生労働科学審議会科学技術部会

平成19年4月12日

1. 医薬基盤研究所の概要

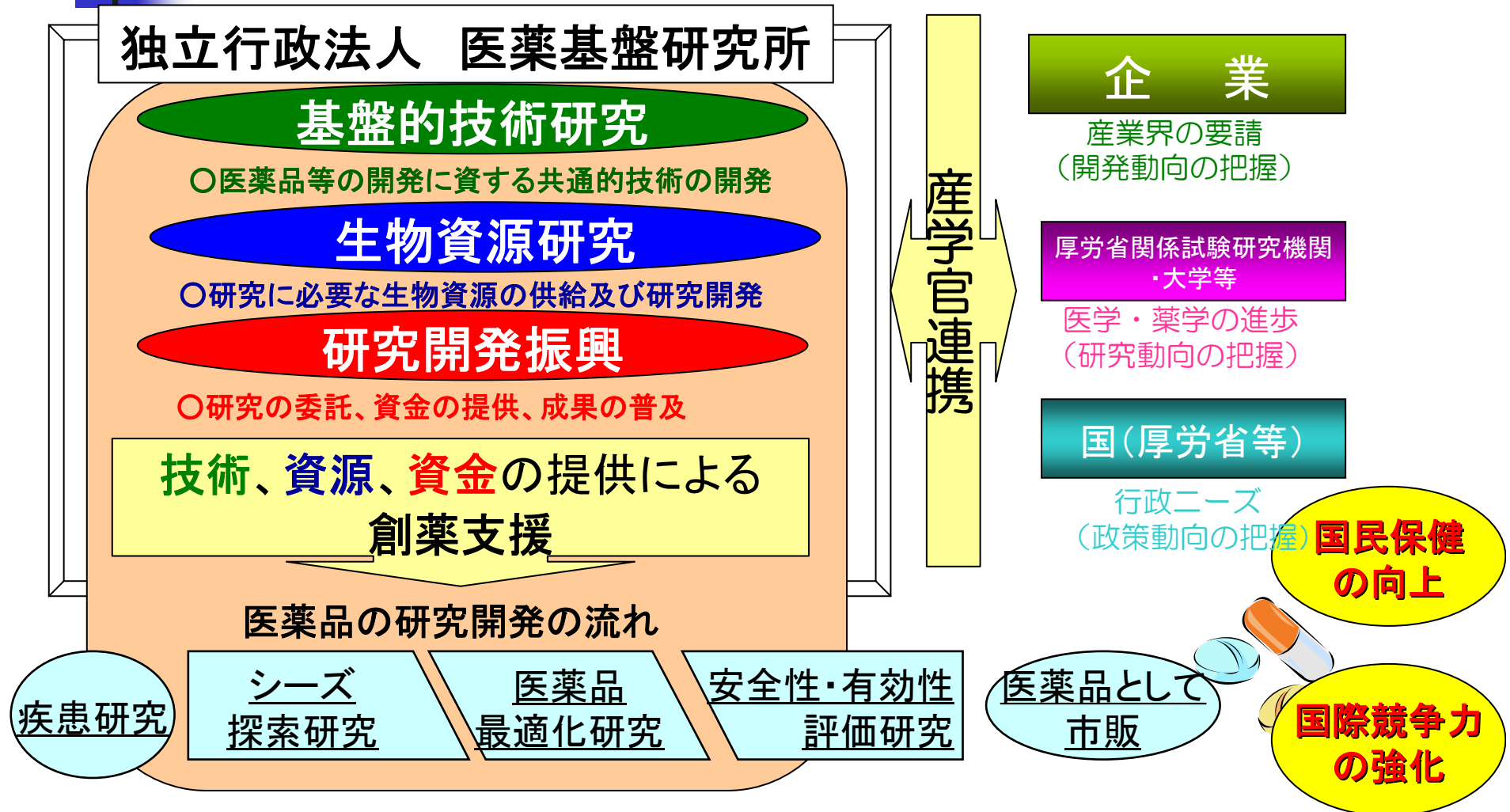
(1)沿革

医薬基盤研究所は、国立医薬品食品衛生研究所大阪支所を主な母体に、国立感染症研究所、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の組織の一部を統合して、平成17年4月に創設



(2) 目的と事業

医薬基盤研究所は、創薬支援に特化した独立行政法人として以下の三つの事業を行い、民間企業、大学等における新たな医薬品・医療機器の開発を目指した研究開発を支援



(3) 医薬基盤研究所の業務と連携

I 基盤的研究

医薬品等の開発を行う際に共通的に利用できる技術の開発

医薬品安全性予測研究

医薬品安全性予測のための毒性学的ゲノム研究

疾患関連たんぱく質研究

ヒト試料を用いた疾患関連たんぱく質の解析研究

疾患関連たんぱく質の有効活用のための基盤技術開発

生活習慣病等の細胞内シグナルに関する研究

バイオインフォマティクスに関する研究

免疫・ワクチン研究

新世代ワクチン・抗ウイルス剤開発基盤研究

新世代抗体産生基盤研究

サイトカインシグナル伝達制御因子に関する研究

横断的技術研究

疾患モデル動物研究

遺伝子導入技術開発

国立衛研
HS財団
ナショナルセンター
感染研
大学
製薬企業
との連携

II 生物資源研究

医薬品等に関する試験研究に用いるための生物資源の研究

研究資源バンク (JCRB※)

遺伝子

細胞

小動物

薬用植物資源
研究センター

霊長類医科学
研究センター

製薬企業
研究者
への供給
ナショナルセンター
等との連携

※JCRB: Japanese Collection of Research Bioresources

III 研究開発振興

医薬品等の開発に関する研究の委託と成果の普及
希少疾病用医薬品等の開発振興

基礎的研究業務
(基礎研究推進事業)

→基礎研究の成果を基にした
医薬品・医療機器の開発

大学、研究機関を支援

研究振興業務
(実用化研究支援事業)

→ベンチャー企業による
医薬品・医療機器の実用化

ベンチャー企業を支援

希少疾病用医薬品等
開発振興業務

→希少疾病用医薬品等の
開発支援

オーファン開発企業を支